

明治大学 vs 慶應義塾大学

4月6日(日)
13:50K.O.
川口

優勝候補の筆頭に挙げられる明大。それほど今年は戦力が整っているし、これまで培ってきた選手たちの経験もある。

何より守備陣にはタレントがそろっており、常に安定した力が望める。攻撃陣も十分にいい選手がそろっており、攻守に安定したチームといえるだろう。3月31日にジェフユナイテッド市原・千葉と練習試合を行ったが、4-1の完勝だったことでもチームの完成度がうかがえる。

「例年と同じく球際・切り替え・運動量のチームの三原則に加えて、独創性にあふれたポジションサッカーを目指し、日々の練習に励んでいる」(神川明彦監督)

毎年、前期リーグでもたつてしまう傾向があるだけに、この前期リーグをいかに乗り切るかが大きなポイントになるだろう。

「結勝(けっしょう)」をチームスローガンに優勝を目指して戦う明大がどういった戦いを見せるのか、期待が集まる。

苦しい残留争いの中、最後の最後に力を振り絞って戦い、何とか1部残留を決めた慶大。昨年のメンバーからさらに選手が抜けて厳しい戦いとなりそうだが、その

分、選手、チームが一つになっている。

「謙虚な気持ちを持ち続け、一戦一戦を全力で戦い、一つでも上の順位を目指していきます。そのために慶大の伝統である全員攻撃、全員守備の闘う集団を作り上げていきます。失点数の多かった昨シーズンの反省を生かし、オフシーズンから守備面の強化、体力面の強化を図ってきた」(須田芳正監督)

昨シーズンの激闘を経て、かなりたくましくなった慶大がどういったサッカーを見せてくれるのか。

昨年の対戦：前期/明大2-2慶大、後期/明大2-0慶大

明大			慶大		
6. 高橋	8. 石原		7. 川田	3. 溝渕	
4. 小出	10. 和泉		9. 平戸	6. 望月	
1. 三浦	7. 差波	18. 苅部		8. 山浦	1. 峯
			10. 端山		
3. 山越	9. 矢島		14. 長尾	2. 久保	
2. 室屋	11. 藤本		11. 増田	4. 保田	

国士舘大学 vs 桐蔭横浜大学

4月6日(日)
13:50K.O.
味スタ西

前半戦を最下位で折り返しながら、後半戦、一気によみがえって4位でフィニッシュ。その勢いのまま、インカレも決勝戦まで駒を進めた。決勝では残念ながら敗れたが、国士大の底力を見せつけた。

昨年の苦しい戦いを経験したメンバーが、今年のチームを引っ張っていくのは間違いない。

「昨年は13年ぶりにインカレ決勝という舞台まで進むことができましたが、あと一歩のところまで優勝を逃してしまいました。昨年の4年生の先輩方が残した悔しさと足跡を胸に、日々厳しいトレーニングに励んできました。本年度のタイトル奪取を目標に掲げ、ピッチに立つ選手だけではなく、応援してくれている全部員、学生スタッフ、コーチングスタッフ、全員で強い国士大を大勢の観客の前で見せます」(キャプテン今瀬淳也・4年)

国士大らしい攻守の切り替えの早い、スピーディーで躍動感あふれるサッカー、そしてどんな状況でも相手に勝つ強さを披露できるか。

昨年、1部に昇格した桐蔭大。苦しい戦いも多かったが最終的に9位と、1部残留を果たした。一方で、1部のチームと堂々と渡り合った自信も手にしている。

「昨年は初の関東1部での戦いを前期5位で折り返しましたが、最終的には9位。何とか残留という結果で終わり、まだまだ実力が足りないことを痛感しました。しかし、昨年の経験がチームの意識を大きく変え、関東1部リーグ2年目となる今年は、インカレ出場を目標に戦い続けることができるチームに変わりつつあります」(キャプテン田内廉・4年)

前半戦は5位であったように、実力は十分にある。今年、一気に飛躍する可能性を秘めているチームだ。

昨年の対戦：前期/国士大0-1桐蔭大、後期/国士大5-0桐蔭大

国士大			桐蔭大		
12. 藤寄	10. 進藤		8. 山崎	2. 田内	
5. 仲島	11. 平松			6. 福島	
	8. 松本		14. 西巻		
1. 小澤	6. 海野		10. 坪井	13. 岡本	1. 土井
			5. 大野		
4. 今瀬	20. 田中			4. 古澤	
2. 横濱	14. 佐々木		7. 山根	3. 長谷	

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.1 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大の4連覇達成の可能性は!?

すっかり暖かくなった4月5日、「JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦」が開幕。今年も1部、2部各12チーム、2回戦総当たりで優勝が争われる。注目は専大が4連覇を達成できるかどうか、そして、ほかのチームが阻めるかどうかだろう。

各チーム状況だが、専大は主力選手が何人か抜けたものの、今年も戦力は充実している。新1年生も実力選手が入学し、優勝争いに絡むのは間違いないだろう。その専大に待ったをかけるのは、明大と流経大が筆頭候補。明大は守備陣に多くのタレントをそろえており、安定した戦いが望める。また、攻撃陣も強力でバランスが取れているのが特徴だ。一方、昨年は5位に終わった流経大だが確実にチーム力は向上しており、年度が替わっても安定した戦いをしていく。ここ数年、リーグ戦で結果が出ていないことで、今年こそはという気持ちも強いだろう。

さらに追うチームを挙げるとすれば、ここ数年、上位に絡んでいるものの、優勝まであと一歩が届かない早大。サッカーは成熟している

だけに、あとは勝ち切る強さだけか。昨年の後半戦で一気に成長した国士大は今シーズンも台風の目だし、タレント豊富な筑波大にも注目集まる。

そのほかのチームを見ると、昨年7位に終わった中大は選手個々のレベルが非常に高いし、試合内容自体も悪くないだけに浮上の可能性は十分にある。昨年、残留争いに巻き込まれたのが順大。年ごとに見れば成長している部分はあるが、さらに安定した戦いをするために今年は勝負の年になりそうだ。昨年1部に昇格した桐蔭大。健闘したものの接戦をモノにしきれなかっただけに、今年はまずインカレ出場を目指す。そして、苦しい戦いの中で何とか1部に残留した慶大。昨年終盤の強い気持ちがあれば、今年は上を目指せるはずだ。

昇格チームに目を移すと、2部を圧倒的強さで優勝し、1部初挑戦となる東国大。1部昇格年度に活躍するチームも多いだけに注目だ。そして、3年ぶりに1部に復帰した駒大。力強さを持っているだけに、復帰してどういったプレーを見せるのか非常に楽しみといえる。

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 日程

順位	チーム名	専大	早大	明大	国士大	流経大	筑波大	中大	順大	桐蔭大	慶大	東国大	駒大	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失差	勝点
	専大		6月15日	5月24日	5月10日	5月2日	5月17日	4月27日	5月5日	4月16日	4月20日	4月12日	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0
	早大	味フィ西		5月3日	5月18日	5月10日	5月25日	4月19日	4月16日	4月26日	5月6日	4月5日	4月12日	0	0	0	0	0	0	0	0
	明大	川口	味スタ西		6月14日	4月16日	5月10日	5月18日	4月27日	4月12日	4月6日	5月6日	4月20日	0	0	0	0	0	0	0	0
	国士大	味フィ西	味スタ西	味フィ西		5月5日	4月20日	5月24日	5月2日	4月6日	4月12日	4月26日	4月16日	0	0	0	0	0	0	0	0
	流経大	江戸陸	たつのこ	たつのこ	たつのこ		6月14日	4月6日	4月13日	5月24日	5月18日	4月20日	4月26日	0	0	0	0	0	0	0	0
	筑波大	たつのこ	BMW	味フィ西	ひたちなか	味フィ西		4月13日	4月6日	5月2日	4月27日	4月16日	5月6日	0	0	0	0	0	0	0	0
	中大	三ツ沢陸上	味フィ西	味スタ西	川口	味フィ西	たつのこ		6月15日	5月5日	4月16日	5月10日	5月2日	0	0	0	0	0	0	0	0
	順大	フクアリ	江戸陸	味スタ西	江戸陸	たつのこ	味フィ西	味フィ西		4月19日	5月10日	5月24日	5月17日	0	0	0	0	0	0	0	0
	桐蔭大	BMW	古河	駒沢陸上	味スタ西	たつのこ	三ツ沢陸上	夢の島	味フィ西		6月15日	5月17日	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0
	慶大	味フィ西	味フィ西	川口	味スタ西	たつのこ	味スタ西	BMW	フクアリ	古河		5月3日	5月24日	0	0	0	0	0	0	0	0
	東国大	夢の島	味フィ西	味フィ西	多摩	ひたちなか	たつのこ	フクアリ	千葉東総	たつのこ	BMW		6月15日	0	0	0	0	0	0	0	0
	駒大	味フィ西	駒沢陸上	味フィ西	三ツ沢陸上	多摩	駒沢陸上	三ツ沢陸上	ゼットエー	保土ヶ谷	たつのこ	古河		0	0	0	0	0	0	0	0

体育会学生のための



リクナビ就職エージェント

あなたの就活を、専任アドバイザーがマンツーマンでサポート。



早稲田大学 vs 東京国際大学

4月5日(土)
12:00K.O.
味フィ西

毎年、安定した戦いを見せるが、優勝には一歩手が届かない早大。昨年のリーグ戦も2位に終わり、非常に悔しい思いをただけに、今年こそは何としてもタイトルを！ という気持ちが高い。

ピッチ内において真面目さやひたむきさといった内面的な姿勢と、素早くゴールに迫るダイナミックなサッカーで人々の心に波を起こし、感動を与えたいと日々サッカーに向き合っている。

もともと守備力には定評があったが、昨シーズン、優勝するには少し失点が多かった。今シーズン、いかに失点を減らせるかが一つのポイントだ。

また、ここぞというところで、勝ち切れなかったのが最終的に尾を引いた。しっかりと勝ちきる強さを今年は身につけたい。

昨シーズン、圧倒的な強さで2部優勝を果たし、今シーズン1部に挑戦する東国大。目標は「1部優勝」だ。

一昨年末で埼玉県リーグに所属していたが、一気に1部まで駆け上がってきたように勢いは十分。ここ数年、2部から昇格したチームの活躍ぶりを見ても、優勝争いに絡む可能性はある。

「一戦一戦、胸を借りる気持ちを忘れずに戦いたいと思

います。昨年の2部優勝に大きく貢献してくれた4年生が引退し、新戦力を加えた新しいメンバーで挑むので、再度チャレンジ精神を持って、日々、トレーニングしていきたいと思います」(前田秀樹監督)

新しいシーズンに向かって、気持ちを引き締める。日本代表でプレーし、水戸ホーリーホックで指揮を執った経験を持つ前田監督が1部でどのようなサッカーを見せるのか。非常に注目が集まるが、アグレッシブなサッカーを見せてくれることは間違いない。

昨年のリーグ戦での対戦はなし

早大		東国大	
12. 八角	8. 田中太	18. 谷口	3. 新地
4. 金沢	9. 宮本	4. 加藤	15. 舛田
	6. 近藤洋		10. 若井
1. 松澤			21. 今野
	5. 大丸		8. 上船
3. 田中進	10. 秋岡	9. 福島	5. 鈴木
2. 奥山	7. 近藤貴	7. 小玉	6. 今泉

筑波大学 vs 順天堂大学

4月6日(日)
11:30K.O.
味フィ西

ここ数年、やや元気がない筑波大。昨年もリーグ戦6位、アミノバイタルカップは1回戦敗退で総理大臣杯には出場すらできず、インカレ出場権は手にしたものの2回戦敗退となった。

今シーズン、スタッフの体制が大きく変わり、今までのスタイルからさらにレベルアップしたサッカーを目指している。ここ10年間、遠ざかっているタイトルを今年こそ獲得すべく、「奪還」をチームスローガンに気持ちも新たに臨む。

なかなか結果は出せていないが、ここ数年、数多くのプロ選手を輩出しているのを見てもわかるように、個々のタレントは十分にそろっている。いかにチームとして成熟させるのかが、大きなポイントになるだろう。

また、この4年間、筑波大の得点源だった赤崎秀平(鹿島アントラーズ)が抜けた穴を、しっかりと埋めることができるかどうかは勝敗を左右しそうだ。

チームの好不調の波が激しく、昨シーズンの最後は残留争いに巻き込まれてしまった順大。ここ数年、チーム力は着実にアップしてきており試合内容も悪くはないが、そこで勝ちきれないのが痛い。

「今年のテーマは教育です。部員同士で教育しあえる人

間関係をはぐくみ、より成長を促しあい、日本一の組織、日本一のチームを目指します」(吉村雅文監督)

そのためには試合中に一度リズムを崩しても、ピッチ内で立て直していくことが必要だ。

「たとえ一人ひとりの力では勝てなくても全員が機能し、助け合い、チーム力で勝負する。リーグ戦を通してどの大学よりも大きく成長して、シーズンを終えたいと思います」(キャプテン大畑拓也・4年)

成長したチームを披露できるか!?

昨年の対戦：前期/筑波大3-1順大、後期/筑波大1-3順大

筑波大		順大	
3. 三丸	12. 二上	17. 小島	3. 吉永
7. 車屋	9. 若杉		4. 谷奥
	6. 片岡		6. 長谷川涼
1. 岩脇		9. 山崎	21. 大畑
	14. 吉田	10. 長谷川竜	15. 青木
5. 西村	8. 早川		5. 新井
2. 田代	10. 中野	12. 進藤	2. 友澤

専修大学 vs 駒澤大学

4月5日(土)
14:20K.O.
味フィ西

3連覇という偉業を達成した専大だが、もちろん今年も目指すは優勝。昨年までチームを引っ張ってきた長澤和輝(1.FCケルン)、下田北斗(ヴァンフォーレ甲府)が抜けた穴が心配されるが、才能あふれる選手が十分にそろっている。毎年、各ポジションで中心選手が抜けながらも、たくましく成長してきただけに、今年も優勝争いに絡む可能性は十分にある。

昨シーズン心配された守備面だが、終わってみればリーグ最少失点だった。ケガ人が多く、なかなか難しい戦いだったが、それでも守備の選手が試合ごとに成長してきたのは今年に向けて大きな財産だ。

攻撃面では昨年、得点王を獲得した仲川輝人(4年)を中心に、今年も攻撃的で美しいサッカーを掲げる。「昨シーズンのチャンピオンとして守りの姿勢にならず、常に攻撃の姿勢を持って戦います」(源平貴久監督) アグレッシブな攻撃とその豊富な運動量に注目が集まる。

3年ぶりに1部の舞台に駒大が帰ってきた。「2年間、2部で戦って、耐える、頑張るということを学びました。1部ということで心機一転、新たな気持ちで戦いに挑んでいくつもりです。わがチームは、学生ら

しいサッカーが魅力的だと思っています。最後まで粘り強く戦う選手たちを見ていただければうれしいです。そして、貪欲にゴールを狙う、早いサッカーを目指します」(秋田浩一監督)

2部時代には、なかなか勝ちきれず、苦しい思いもした。その経験が、1部での接戦の中で必ずや生きるはずだろう。

しっかりとした守備をベースに、一気に前線までボールを運ぶ迫力ある攻撃に注目したい。

昨年のリーグ戦での対戦はなし

専大		駒大	
5. 小口	11. 前澤	11. 小牧	13. 大木
6. 河津			4. 平尾
	8. 星野		5. 伊藤
1. 福島	7. 北出	9. 小牟田	14. 中村
	14. 野田		10. 板倉
3. 萩間			3. 川岸
2. 北爪	10. 仲川	7. 平野	15. 須貝

流通経済大学 vs 中央大学

4月6日(日)
13:50K.O.
味フィ西

昨年、リーグ後半戦から底力を発揮し、リーグ戦を5位でフィニッシュした流経大。総理大臣杯でも優勝を果たし、強豪・流経大復活まであと一歩のところまできているだけに、今年は是非でもリーグ戦の栄冠を手にとりたいところだ。

来年には大学創立50周年を迎えるだけに、「その年には関東リーグ、総理大臣杯、インカレの大学タイトル独占を達成したいと考えています」(中野雄二監督)

その足がかりとして、まずは今年のリーグ優勝を目指す。昨年はなかなかチームを引っ張る、リーダースhipのとれる選手が少なかったが、その分、下級生がリーグ戦の経験を積んだことは今年の大きな財産だといえる。DF、中盤、FWと各ポジションにしっかりと選手がそろっており、昨年のベースから大崩れはしないはずと中野監督も手応えを得ている。優勝争いをするだけの力は十分にある。

昨シーズンの終盤に失速してしまい、インカレ出場も逃してしまった中大。今年は「挑戦」をチームスローガンに、アグレッシブにリーグ戦に臨む。「われわれにしかできないチーム作りを目的とし、日々

前に進むことを目標にチャレンジしています。チャレンジすればリスクを伴い、困難なことが多く存在するが、その困難なことがチーム、個人を強くする材料になる。個人では成し得ることができなくとも、チームで同じ目的、目標を目指すことで不可能を可能に変えられる力が身につく。われわれは常にチャレンジャーであり、見ている人たちに感動を与えられるサッカーを目指して、一戦一戦全力で戦います」(白須真介監督)

中大のチャレンジに注目だ。

昨年の対戦：前期/流経大0-0中大、後期/流経大2-1中大

流経大		中大	
14. 原	24. 石田	11. 古橋	13. 高橋
15. 塚川	20. 江坂	10. 砂川	5. 岡崎
	10. 野口		6. 秋元
1. 中島			1. 前田
	25. 古波津		4. 渋谷
5. 川崎	9. 田上	9. 内田	2. 木村
2. 湯澤	7. 森保	8. 鈴木	12. 渡辺

※今回の布陣は、各チームが提出し、パンフレットに掲載したものを転載